

令和6年7月13日に、山口県建築士会と山口県建築士事務所協会の共催で、建築士の日記念事業として国宝「瑠璃光寺五重塔」改修現場見学会を開催しましたので、その様子を報告します。

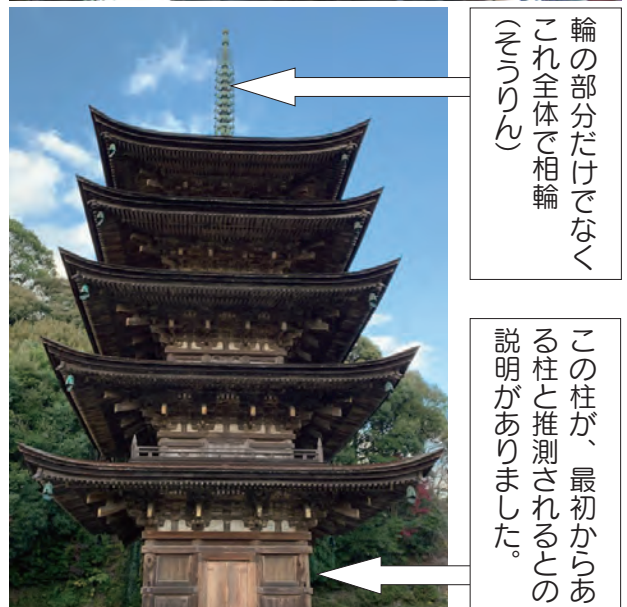
幸いにも天候に恵まれ、参加者合計64人が2回に分かれて見学しました。

施工者である協和建設工業株式会社の渡辺様にご説明いただきながら、工事用の足場を登って一重目から五重目まで、さらには相輪（右下写真参照）に手が届きそうなところで観ることができ、貴重な体験をさせていただきました。

当日は二重目の屋根の檜皮葺が行われており、施工されている山口市の「ひわだや」の佐々木様から手順や竹釘の打ち方、使っている竹釘や釘打ちをすべて片手で行えるよう工夫された工具などを手に取らせていただきました。

上重の軒先からの雨落がある部分は傷みが大きくなるので、下地に防水シートを施すなど、文化財を守るために、現代の材料を取り入れた工夫がされていることも知りました。

最後に、快く見学を受け入れて頂きました曹洞宗保寧山瑠璃光寺様、協和建設工業株式会社様に厚く御礼申し上げ、報告といたします。



この部分だけでなく、これ全体で相輪（まがひら）

この柱が、最初からある柱と推測されるとの説明がありました。